

第6回 海軍道路の桜並木に関する懇談会

日時：令和4年3月25日（金）16：00～18：00

場所：中屋敷地区センター

議 題

○開会

○議事

- 1 前回までの懇談会での主な意見とまとめ
- 2 A, B 区間の整備イメージ（修正案）について
- 3 今後のスケジュール（案）について
- 4 意見交換

○閉会

■配布資料

- 資料1：前回までの懇談会での主な意見とまとめ
- 資料2：A, B 区間の整備イメージ（修正案）
- 資料3：今後のスケジュール（案）
- 資料4：第1回懇談会資料の修正について
- 別紙：第1回懇談会修正資料

■第7回 海軍道路の桜並木に関する懇談会について（予定）

日時：令和4年5月の開催を予定

後日、改めて出席依頼文を送付させていただきます。

なお、新型コロナウイルスの感染状況等により変更となる場合があります。

A, B区間の考え方(案)と、第4、5回懇談会での主な意見

横浜市からの提案

(1)桜は街路樹として適切なのか

道路構造令、
道路緑化技術基準

樹種の成長特性等を理解の上、目標とする樹形、樹高を想定し、植栽する道路空間や維持管理水準に見合った樹種、植栽間隔

横浜市
街路樹設置基準

植栽間隔:街路樹(並木)は、標準10.0m以上
樹種の選定:同一路線は同一の樹種と様式で植栽する。

(2)農地への影響

枝、根の農地への
越境

考えられる要因

- ・ (ソメイヨシノ)成長スピードが著しく早く、大径木であること
- ・ 成長の度合いに適していない植栽基盤

カラスの巣

考えられる要因

- ・ 入けのない場所
- ・ 大径木、高木であること

上記の留意点を考慮しつつ、A,B区間における桜並木を再生 + 具体的樹種の提案



ヨウコウ案



コシノヒガン案

位置図



緑字：第4回懇談会での意見

青字：第5回懇談会での意見

コシノヒガンが良い

- 街路樹に桜は適さない。市が桜にこだわるのであれば、コシノヒガンを選ぶことは賢明だと思う。
- 植樹して10年後を考えるとだけでは足りない。20年、30年後の大きさも見据えるべき。
- 今までのイメージがあるので、色が近いコシノヒガンが良い。
- ヨウコウと比較すると、ソメイヨシノと色が近く、イメージを継承できる。コシノヒガンは傘型で枝が張るので、夏は日陰になり、歩行者に良い。
- ヨウコウよりコシノヒガンの方がみんなの気持ちを反映している。
- 色合いについて、コシノヒガンのほうが良い。

ヨウコウが良い

- ヨウコウは広卵型で横に広がらない。他は傘型で横に広がる。視界を遮らない落葉高木ということでヨウコウは適当。
- 手入れがしやすく、見ごたえもあるヨウコウなどが良い。農地や歩道への被害も少ないのではないかと、ヨウコウを希望。
- A,B区間はヨウコウで良い。
- 木の高さや大きさなどの管理面からも、ヨウコウが良いと思っている。
- すでにヨウコウを植えているところとのつながりを考えるとヨウコウでも良い。

レガシー(ソメイヨシノ)について

- 農地があるAB区間は道路が広がるので、ソメイヨシノでも良いのではないかと。
- 桜のトンネルのアーチは、公園の中でも再現できる。
- 街路樹に、桜を植えることに反対はしないが、基本的に桜は公園でいいと思っている。
- 公園の中にも桜の名所をつくってほしい。
- 現状のトンネルは素晴らしいものなので、開発の中にソメイヨシノのレガシーを残してほしい。
- 桜のトンネルのレガシーを大事にするならば、公園につくりたい。
- 環状4号線と一体性をもたせながらソメイヨシノになる。

鑑賞する側は成長が早い方が良い

- 成長スピードが遅いものを樹種の選定の基準としているが、これは管理する側の基準で、鑑賞する側からすると成長が早いほうが良い。

その他

<カラスや根の被害>

- カラスの被害をどうクリアしていくかも残された課題となっている。
- 根っこが農地に入るなど、問題のある場所は植えない方が良い。
- 根が張ることへの対策はしてほしい。
- 近隣の農地へのカラスや根の被害は充分に対策する努力が必要。

<低木について>

- 桜と桜の間に低木があると困る。ハクビシンやアライグマの隠れ場所になる。

<渋滞への対策>

- 桜の時期に大渋滞が起こる。警察との連携をしっかりとってほしい。

<事例について>

- 泉区と港南区の事例、植え替え後の住民からの意見やフィードバック等があれば参考になる。→泉区事例紹介
- コシノヒガン、ヨウコウは新しい品種なので、大きくなるのか等、30年、40年後の事例もあれば教えてほしい。→他事例の紹介

A,B区間の樹種は近隣住民や子供の意向を聞いてほしい

- 花の色は近隣の意向に沿うべき。
- 樹種は、近隣の住民の意見を踏まえて決めていただきたい。
- 瀬谷中学校、上瀬谷小学校の生徒に意見を聞いてほしい。

主な意見

A,B区間は“桜並木を再生”



A,B区間の考え方のまとめ

A,B区間の考え方をまとめるうえで、今までに頂いたご意見とそれらに対する考え方を以下のようにまとめます。

(1)海軍道路の考え方

- 今までの由来や思いを継承していくことについては重要視されないのだろうか。①
- 道路のすぐ近くに植えられている桜は枝を伸ばせず、気の毒な姿になっている。①
- C区間の東側の広い歩道幅をキープしてほしい。① など

考え方①

- 以下の点を重視する
- ① 今までの桜の継承(由来や思い)
 - ② 樹木の成長・大きさを考える(樹木としての視点)
 - ③ 安全で明るい通学路、快適な歩行空間

(2)A,B区間の考え方

- 桜を切ってしまうと風流が無くなってしまう。③
- 桜は霧が丘から続いているので、多少桜を残した方が良い。③

考え方②

現在の海軍道路の雰囲気(桜の由来や思い)を継承するために桜並木を再生

(3)桜の樹種

【樹形】

- 桜は高いところに枝が伸びるので、カラスが巣をつくってしまう。カラスが畑へ行く経路になってしまい、畑にカラスが増えている。①
- 道路のすぐ近くに植えられている桜(ソメイヨシノ)は、枝を伸ばせず、気の毒な姿になっている。①

【樹高】

- そもそも大型化する樹木を街路樹として植えるという植栽方針に疑問を感じている。①

【花の色】

- 今までのイメージがあるので、現状の桜(ソメイヨシノ)と色が近いものが良い。⑤

【開花時期】

- 桜で品種を変えて4月(学校の入学式の時期)に咲くようにしてあげることが大人の使命である。①

考え方③

【樹形・樹高】

現状のソメイヨシノほど大きくならず(成長スピードが遅く)枝が広がりにくい樹種

【花の色】

現状のソメイヨシノの色に近い樹種

【開花時期】

開花時期がソメイヨシノとおおよそ同時期の3月下旬から4月上旬の樹種

(4)植栽



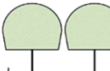
- 樹種は間隔等を考えながら検討してほしい。①
- 桜並木の下草もなかなか刈ってもらえず伸びてしまう。①
- 農地に影響が出ているので根が張らないものにした。①
- 歩道への根上りにより、歩道に割れ目が生じている。③

考え方④

以下の点に留意する

- ① 適正な植栽間隔(10mピッチ)
- ② 植栽基盤(大きさや客土)
- ③ 農地への影響を考慮し、車道側への植栽

※各意見の後ろの数字は、ご意見を頂いた懇談会の回数を表しています

種名(品種名)	ヨウコウ	コシノヒガン	※参考 ソメイヨシノ
事例写真	植え替え前  植え替え後  横浜市 港南区 港南桜道	植え替え前  植え替え後  横浜市 泉区 いずみ野駅前通り	※比較検討するための参考であり、ソメイヨシノは今後、検討する樹種ではありません。 
タイプ	カンヒザクラ群栽培品種 アマギヨシノ×カンヒザクラ	エドヒガンとキンキマメザクラの交雑種 自生種 エドヒガン × キンキマメザクラ	エドヒガン群栽培品種 エドヒガン×オオシマザクラ
開花時期、花の色	3月下旬 淡紅紫色／一重咲 ソメイヨシノより、濃いピンク	4月上旬 淡紅色／一重咲 ソメイヨシノに近い淡いピンク	3月下旬 微淡紅色～白色／一重咲 淡いピンク
樹高、樹形	落葉高木 広卵型  <ul style="list-style-type: none"> ・ソメイヨシノほど大きくならず、枝が広がりにくい 	落葉高木 傘型  <ul style="list-style-type: none"> ・ソメイヨシノほど大きくならず、枝が広がりにくい 	落葉高木 傘型  <ul style="list-style-type: none"> ・枝が広がりやすい
病害虫	ソメイヨシノに比べて、病害虫に強い(抵抗力がある)	ソメイヨシノに比べて、病害虫に強い(抵抗力がある)	てんぐ巣病にかかりやすい
成長スピード	ソメイヨシノより成長が遅い 約10年で6～7m※	ソメイヨシノより成長が遅い 約10年で6～7m※	成長が早い 約10年で7～8m※
第1回から第4回までの意見(抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ● ヨウコウは広卵型で横に広がらない。視界を遮らない。 ● ヨウコウは色が桜らしいとは思えない。 ● ヨウコウだとピンク過ぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コシノヒガンの方がソメイヨシノの色に近いように思える。 ● 市が桜にこだわるのであれば、コシノヒガンを選ぶことは賢明。 	—
第5回での意見(抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ● A,B区間はヨウコウで良い。 ● 木の高さや大きさなどの管理面からも、ヨウコウが良い。 ● すでにヨウコウを植えているところとのつながりを考えるとヨウコウでも良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ソメイヨシノと色が近く、イメージを継承できる。 ● コシノヒガンは地味。 ● 傘型で枝が張るので、夏は日陰になり、歩行者にとって良い。 ● ヨウコウよりコシノヒガンの方がみんなの気持ちを反映している。 	—

※成長スピードは、気象条件や植栽基盤の状況により大きく変化するため、あくまで参考値です。



A,B区間の樹種における市の考え方
 今までの海軍道路の桜並木における
 景観（淡いピンク色）の継承

A,B区間の樹種（案）

今までのご意見と考え方をもとに、A,B区間の樹種はコシノヒガンで検討を進めます

なお、皆様との意見交換を目的としている懇談会では、皆様からのご意見を踏まえ、樹種を決定していきたいと考えてます。今後の整備方針策定後には、将来の樹種も含め周知活動を積極的に行っていきたいと考えております。





■ A、B区間の空間イメージ

A,B区間の空間イメージは、以下の通りです。
 なお、この整備イメージは、最終的ににとりまとめる、整備方針に記載していく予定です。

	現況	A区間 コシヒガン	B区間 コシヒガン
断面・立面 イメージ図	<p>西側 東側</p>	<p>西側 東側</p>	<p>西側 東側</p>
概要	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地区画整理事業にあわせて、現在のソメイヨシノをコシヒガンに植え替えます。 ● 植栽間隔は、10mとします。 ● 植栽位置は、農地への影響を考慮して、車道側とします。 ● 植え替えにあわせて、植栽基盤を改善します。 	

※第5回懇談会資料をベースに、「赤色文字」部分を修正

	2021年度 (R3)						2022年度～2026年度 (R4) (R8)		2027年度 (R9)
	1 海軍道路の桜並木に関する懇談会	第1回懇談会 7/30	第2回懇談会 (現地説明会) 10/26	第3回懇談会 11/12	第4回懇談会 12/20	第5回懇談会 1/27	第6回懇談会 3/25	第7回懇談会 (5月)	令和4年度以降
懇談会の目的 桜並木の現状・課題 桜並木に関する方向性(案)の提示 今後のスケジュール		桜並木の現状・問題点等を現地にて説明	第1回懇談会、現地説明会での主な意見 今後のスケジュールと進め方(案)の提示	第3回懇談会での主な意見 A,B区間の樹種(案)の提示 C区間の考え方(案)の提示	第4回懇談会での主な意見 A,B区間の整備イメージ(案)の提示 C区間の樹種(案)の提示	第5回懇談会での主な意見 A,B区間の整備イメージ(修正案)の提示 C区間の整備イメージ(案)の提示	第6回懇談会での主な意見 C区間の整備イメージ(修正案)の提示 記憶の保全事業についての事例紹介	「桜並木再生等の整備方針」の策定	記憶の保全事業 整備計画の詳細な検討等
	第1回から第3回までのご意見を踏まえたうえで案を提示 ○樹種 ・管理面 ・大型化しない樹種 ・海軍道路の桜への思い ・C区間の樹種 ・ヨウコウの花の色など			各回で頂いたご意見を踏まえたうえで案を提示 ○樹種 ・管理面 ・大型化しない樹種 など ○留意事項 ・植栽間隔が狭い・農地への関係 ・植栽による視界不良、接触 ・害虫等との関係、台風等による倒木 ・海軍道路の桜への思い ・既存の桜の伐採は仕方がない など				「既存の桜の活用」等のご意見を踏まえたうえでの検討を予定	
2 国際園芸博覧会	博覧会の開催検討						会場計画設計等	施設整備	
								イベント	
3 (仮称)旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業(環状4号拡幅整備含む)	法手続き・事業計画・設計等						工事		工事

種名(品種名)	ヨウコウ	コシノヒガン
事例	<p style="text-align: center;">新宿御苑</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>樹高7~11m程度、周囲100~200cm (株式会社オオバの新宿御苑樹木調査より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 個体A 樹高11m、幹周2.2m(直径0.7m) S62(1987)年植栽/植栽後34年経過 ◆ 個体B 樹高7m、幹周(幹立ち)1.0m、0.6m H11(1999)年植栽/植栽後22年経過 </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">出典:一般財団法人国民公園協会HP https://fng.or.jp/shinjuku/2019/03/23/post_1423/</p>	<p style="text-align: center;">川和駅前(横浜市営地下鉄グリーンライン)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◆ 2021年のGoogleマップでは、樹高8~10mと推測</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">出典:あそびい横浜 https://asobii.net/91387</p> <p style="text-align: center;">城端野下/富山県南砺市</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>市指定 天然記念物(2017年指定)</p> <p>◆ 樹高は約14m、胸高周囲約170cm、樹齢100年以上</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">出典:文化遺産オンライン https://culture-archives.city.nanto.toyama.jp/culture/bunkazai/bunkazai0254/</p>

第 1 回懇談会資料の修正について

令和3年7月 30 日に開催した「第1回 海軍道路の桜並木に関する懇談会」において配布した資料について、一部誤りがありましたので修正させていただきます。

修正箇所については以下の通りです。

<該当部分>

資料 2 「海軍道路の桜並木の現状・課題」の 4 ページ目

「表 サクラの品種別及び総合判定別本数」と健全度判定の表

修正後の資料については別紙の通りです。

総合判定別本数については、本数に記載ミスがあったため、修正を行わせていただきます。

判定基準の表について、本市の街路樹診断は、道路局が所管している「街路樹診断等業務委託特記仕様書」をもとに実施しており、診断を行ううえでの健全度判定の考え方は今までに何度か改訂されてきました。第1回懇談会資料に記載した健全度判定の表は、古い表であり、現在の健全度判定の表は別紙に記載の通りであるため、修正を行わせていただきます。

なお、毎年実施している街路樹診断においては、常に最新の健全度判定の考え方をもとに診断を行っています。

(2) 健全度

健全度として、令和2年度の総合判定別本数を見ると、ソメイヨシノではB1（注意すべき被害がみられる）が最も多く161個体（約57%）、次いでA（健全か健全に近い）が61個体（約22%）、B2（著しい被害が見られる）が60個体（約21%）となっています。

ソメイヨシノの約2割がB2以下の判定であり、健全度の低い状態です。

表 サクラの品種別及び総合判定別本数（令和2年度樹木医診断結果より）

品種	総合判定				計（本）
	A	B1	B2	C	
ソメイヨシノ	61	161	60	(18) (R2年度伐採済)	282 (伐採済は除く)
	約22%	約57%	約21%		
ヨウコウ	27	9	0	3	39
	約69%	約23%		約8%	
計（本）	88	170	60	3	321

凡例 A 健全か健全に近い B1 注意すべき被害が見られる B2 著しい被害が見られる C 不健全

判定		基準
A	健全か健全に近い	樹勢及び樹形の活力度が1又は2であり、その他の項目に異常がないか、材質腐朽などの被害が軽微なもの。その他の異常についても、局所的あるいは軽微な処置を行えば、問題のないもの。
B1	注意すべき被害が見られる	樹勢又は樹形の活力度が3の段階であるもの。もしくは、今後活力の低下や腐朽の進行が予測され、その他の項目についても被害が各種見られ注意を要するもの。簡易な処置を必要とするもの。
B2	著しい被害が見られる	樹勢又は樹形の活力度が4の段階であるもの。もしくは、幹や根の腐朽が進行し、その他の項目においても被害が見られ、何らかの処置を必要とするもの。
C	不健全	樹勢又は樹形の活力度が5の段階であるもの。もしくは、幹や根の腐朽が著しく、極めて不健全な状態で回復の見込みがないもの。また、倒木や幹折れの危険があるもの。

街路樹診断等業務委託特記仕様書（横浜市道路局）による



幹の腐朽



根元にベッコウタケが確認されたもの



木槌による打診状況